

群馬大学 情報学部 学部案内2026

—— 未来が、そこに。 ——

10号館2F 224教室前

製作：群馬大学情報学部パンフレット制作学生委員会 2026



安西 凛音 古見 光平 新井 秀椰 小澤 乃綺 栗本 望来 小林 歩夏
澁江 小春 島田 朋佳 長谷 美杜 畠中 椋 伊波 純奈
丹生谷 賢政 林 朋奈 小暮 優緒 町田 陽菜 三保 璃胡 宮澤 懷那

目次

学部長挨拶	02
施設紹介	03
教育のポリシー	05
学部概要	06
情報学部YES/NOプログラム適性診断	07
人文情報プログラム	09
社会共創プログラム	11
データサイエンスプログラム	13
計算機科学プログラム	15
教員紹介	17
文理融合ポイント	21
学部生生活	23
情報学部Q&A	25
留学とGFL	27
就職情報	29
入試情報	31
情報学部の活動	33
アクセス情報	34

このパンフでは

このパンフレットでは、情報学部についての紹介を取り上げております。より詳細な情報につきましては、本学のホームページまたは本学パンフレットをご参照ください。

学部長挨拶

情報学部の強み

群馬大学情報学部の強みは、幅広い分野を学ぶ機会が豊富に用意されている点にあります。他分野の専門知識や視点を身につけることは極めて重要です。たとえばプログラミングやシステムエンジニア(SE)の業務においては、発注者側がプログラムの仕組みを十分に理解していないために、無理な要求をされるケースが時おり見受けられます。発注者はプログラミングの基礎や実現可能性を把握しておくことが望ましいですが、受注側も発注者の意図を正確にくみ取る力が求められます。幅広い知識と思考の土台を構築することが、こうした相互理解を支えると考えています。

また、群馬大学情報学部では、入学時に専攻を決めるのではなく、共通の基礎教育を終えた後に専門分野を選択できる体制を採用しています。入学当初に「この分野を専攻しよう」と思い描いていても、学修を進めるうちに視野が広がり、新たな興味を発見する学生は少なくありません。初志から方向を変えて専門を選ぶ自由度があることも、情報学部らしさの一つと言えるでしょう。

学びを活かす

情報学部は社会情報学部と理工学部電子情報工学科情報科学コースを母体として設立されました。もともと社会情報学部でも多様な知識を身につける教育が行われており、その成果を示すエピソードとして、あるメンテナンス会社に就職した卒業生が電気基盤の故障対応を一手に引き受けられる唯一の人材として重宝された例があります。社会人として働き始めたときに多岐にわたる知識があることは、大きな強みです。

さらに、SEの仕事は顧客との対話を重ねながらシステムを構築していくため、担当するクライアントが何を求めているかを正確に聞き取り、理解する能力が欠かせません。情報学部の卒業生は様々な分野で活躍していますが、異なる業界・業務内容に適応しつつ、学習能力を鍛えることは、多くの場面で重要な財産となるでしょう。

情報学部長 伊藤 賢一

新入生へ

大学は多様な人々と出会う場でもあります。学問や優れた教員との出会いはもちろん、仲間や趣味を通じた出会いも大切です。若い時期は柔軟性が高く、新しい言語や文化、趣味を吸収しやすい時期でもあります。安全に留意しつつ、新しい世界にチャレンジする経験を積んでほしいです。

また、部活やサークル活動に打ち込むことも有意義です。たとえば私のゼミ生にはダンスサークルに熱心に取り組んでいる学生がおり、大学の講義とは別の世界で可能性を追求しています。若者にはさまざまな挑戦を通じて可能性を広げる特権があります。みなさんが自身の興味関心を大切に、多様な道で活躍されることを願っています。

施設紹介



外観とエントランス



10号館

ここでは情報学部生が講義を受けたり、ゼミや研究を行ったりします。情報学部生の主な活動場所はここです。2021年には新しく総合研究棟が増設されました。既存棟と総合研究棟がくっついた構造となっていて、内装が異なります。



講義室

主に情報学部に関する講義はこちらの教室で開かれています。大きな教室ではプロジェクタで投影された講義内容と同じものが天吊モニタにも映し出され、教室後方でもみることができます。



ラウンジ

ここは10号館に入ってすぐの場所です。食事や作業など、様々な目的で学生が使っています。充電ケーブルがあるためパソコンなどを充電しながら使え、自販機が近くにあるため、すぐに飲み物を購入できます。

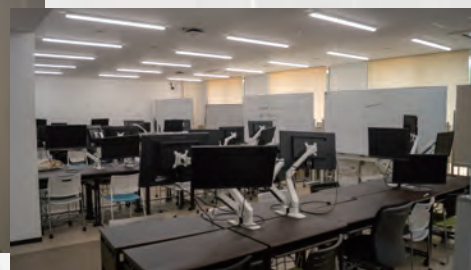


グループ演習室



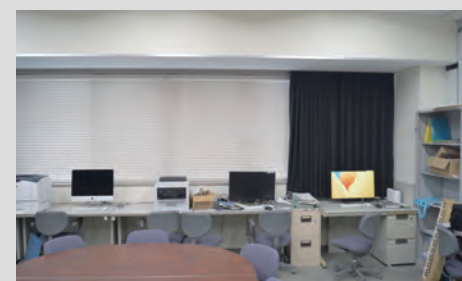
コミュニケーションモール

ここは新棟の1階から2階の吹き抜けとなっており、日当たり、風通しの良い空間です。階を移動するためにエレベーターを使用することができます。



123室

ここは自習を行うことができる部屋です。パソコンに繋げることができるモニターが設置されています。9:00~18:00に自由に使うことができます。



マルチメディア実験室

5階にあるマルチメディア実験室は、学部内のサークル活動の場になっており、パンフレット制作学生委員会はここで活動をしています。イラストレーターが使えるPCがあり、パンフレット制作に使用しています。デザインに関する会議を行うための机などがあります。

吹き抜け



教育のポリシー

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

人材育成の目標

人工知能(AI)やIoTを含む先端技術の創出・利活用を可能とする知識基盤を備え、人文科学・社会科学の知見から情報社会における課題を発見し、情報科学とデータサイエンスの知識を総合することで、持続可能でインクルーシブな社会(Society 5.0)の発展と課題解決に寄与できる人材の育成を目指す。

入学者に求める能力、資質

群馬大学の理念、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな地域社会・国際社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求める。

1. 高等学校の教育課程についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力がある人
2. 情報学を学ぶ上で必要な基礎知識と強い探求心、コミュニケーション能力を持っている人
3. 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
4. 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人
5. 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている人
6. 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持っている人

入学に際し必要な基礎学力

人文情報プログラムあるいは社会共創プログラムを選択しようとする者は、外国語能力の向上と多文化の理解に関心があることが望まれる。また、データサイエンスプログラムあるいは計算機科学プログラムを選択しようとする者は、自然科学、中でも数学を基礎とする分野に強い探求心を持っていることが望まれる。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、
学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)はこちらから→



学部概要

情報を基軸とした文理横断の教育

情報学部では、科学技術と人間社会の両輪が求められる持続可能社会の実現において、情報を基軸とした文理横断型の教育により、Society 5.0を支え、IoT、ビックデータ、統計的解析手法等のスキルを持ち、人文科学、社会科学、自然科学の知識を有した人材を育成します。

また、多くの生徒が高校で行う文理選択。本学部では、2年次のプログラム選択で、高校の文理選択に関わらず自分の希望するプログラムに進むことが可能です。さらに、自分の所属プログラム以外の授業も履修することが可能で、より多方面から学びを深めることができます。

文系プログラム



養成する人材像

人文科学的知見を活用し高度情報化社会における課題の探索をする能力を修得し、課題解決のための実践的理念を提供する能力を修得します。

将来の キャリアビジョン

マスコミ・メディア産業 / 情報通信関連企業 / 広報部署 / 企画・調査部署 / 公務員 / 社会起業家 など



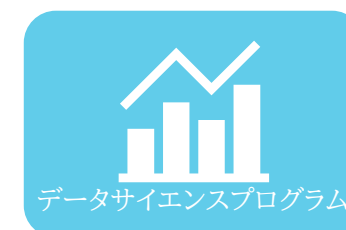
養成する人材像

高度情報化によるシステム(制度)の変化について、社会的知見を活用して課題を発見し、社会的課題の解決及び社会目標達成のためのシステム(制度)の構築や方策を提案できる能力を養成します。

将来の キャリアビジョン

公務員/金融機関/情報通信関連企業/企画・営業部門/ファイナンシャルプランナー/証券アナリスト/アクチュアリー/経営コンサルタント など

理系プログラム



養成する人材像

社会全体から集められるビッグデータを、情報システムを利用し収集する方法を設計し、集まったデータから目的とする価値に適合した解決策を考える能力を養成します。

将来の キャリアビジョン

データサイエンティスト/システムエンジニア/情報サービス業・金融業・製造業等のIT関連研究開発者/公務員/アクチュアリー/経営コンサルタント/医療情報技術者 など



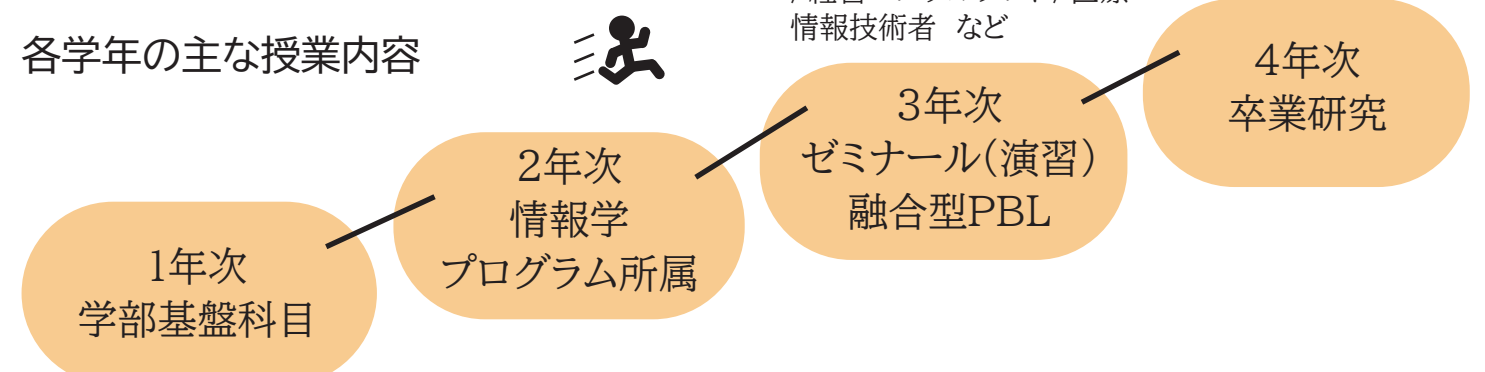
養成する人材像

計算機や情報ネットワークをその数理的原理から理解することで、進歩の速い情報技術をフォローアップできる能力をもち、人工知能や各種情報システムを研究開発できる能力を養成します。

将来の キャリアビジョン

ITエンジニア/情報通信機器開発者/組込みシステム設計開発者/システムエンジニア/企業等のIT関連研究者 など

各学年の主な授業内容



情報学部 YES/NO プログラム適性診断

* 学生が主体で作成したので本当に正しい適性を測ることができるとは限りません。
ご了承ください。

START



1 本を読むことが好きなほうだ
Yes → 2
No → 3

2 考えを文章に起こす事が得意だ
Yes → 4
No → 5

3 パソコンに触れる機会が多い
Yes → 6
No → 7

4 地域おこしに参加してみたい
Yes → B
No → A

5 人工知能に関心がある
Yes → 8
No → E

6 数学が大好きだ
Yes → C
No → D

7 社会問題について考えたことがある
Yes → 9
No → E

8 ソフト開発を試してみたい
Yes → D
No → C

9 他の国の言語を学んでみたい
Yes → A
No → B

自分がどのプログラムに向いているのか気になりますか？ここでは自身がどのプログラムに合っているかの適性診断テストを受けることができます。自分自身の進路がまだ決まっていない、何をしたいかわからない、という人にも必見です。ぜひやってみてください！

A 人文情報プログラム

あなたは言語、マスコミュニケーション、歴史、倫理という言葉に惹かれるタイプではありませんか？そんなあなたには、人文情報プログラムがおすすめ！人間が使う言葉や文字を深く学んでみませんか？ぜひ人文情報プログラムのページを読み返してみてください。

B 社会共創プログラム

あなたは経済、社会、地域、経営という言葉に惹かれるタイプではありませんか？そんなあなたには、社会共創プログラムがおすすめ！地域の活性化や憲法、経済学について学んでみませんか？ぜひ社会共創プログラムのページを読み返してみてください。

C データサイエンスプログラム

あなたは機械学習、ビッグデータ、データサイエンスという言葉に惹かれるタイプではありませんか？そんなあなたには、データサイエンスプログラムがおすすめ！統計学や数値最適化の方法を学んでみませんか？ぜひデータサイエンスプログラムのページを読み返してみてください。

D 計算機科学プログラム

あなたは人工知能、プログラミング、CG、ソフトウェアという言葉に惹かれるタイプではありませんか？そんなあなたには、計算機科学プログラムがおすすめ！プログラミングや情報ネットワークについて学んでみませんか？ぜひ計算機科学プログラムのページを読み返してみてください。

E その他

あなたはやりたいことをまだ探しているのではないのでしょうか？大学に入ってから探してももちろん良いです！情報学部ならあなたのやりたい事が見つかるはず！このパンフレットから自身がやりたいことを探してみよう！

人文情報プログラム

社会のなぜ？を
とことん追える場所でした



概要

人文科学的知見を活用して高度情報化社会における課題を探索する能力を修得します。

このプログラムの科目は、三つのグループから構成されています。

一つ目は、語学とコミュニケーションに関する科目で、人文情報プログラムの基盤として位置づけることができます。プログラムの科目としては、「専門外国語1」、「言語学的コミュニケーション論」、「マスコミュニケーション理論」、「社会学的コミュニケーション論」、「異文化コミュニケーション論」などがあります。

二つ目は、メディアと文化の諸相に関するもので、人文情報プログラムの科目としては、「ソーシャルメディア論」、「身体メディア論」、「現代文化論」、「映像産業論」、他プログラムの科目でこのグループに位置付けられるものとしては、「情報産業基礎論」、「政策情報論」などがあります。

三つ目は、高度情報化社会における人々の生に関する科目で、人文情報プログラムには「近・現代科学哲学」、「歴史情報論」、「芸術表象論」、「批判的メディアリテラシー」、「計量文献学」といった科目があり、他プログラムの科目でこのグループに位置付けられるものとしては、「ゲーム理論」、「医療情報学」などがあります。

以上のような科目グループの授業を横断的に受講することで、高度情報社会に生きるわれわれ人間とその文化を深く、広く理解することを目指します。



言語メディア論



マス・コミュニケーション論



ソーシャルメディア論



情報社会と倫理



社会学的コミュニケーション基礎論

学生の声

私は、自分がどこに進めばいいのか、正直なところ最初は迷っていました。

でも、入学してからいろいろな授業をとって見て、その中でも特に興味を持ったのが「社会学」でした。

それまで社会学ってちょっと堅苦しくて難しそうなイメージを持っていたんですが、実際に学んでみると、SNSの使い方や人間関係など、すごく身近な話題を扱っていて、「これが社会学なんだ！」と驚きました。その授業がきっかけで、もっと深く学びたいと思うようになり、社会学を中心に学べる人文情報プログラムを選びました。

社会学や心理学にも興味があったので、このプログラムは自分にぴったりでした。社会学に関する授業がたくさんあるので、自分の関心に合わせて科目を選べるところも魅力です。

また、このプログラムでは専門外国語として英語の授業も充実していて、語学をしっかり学べるのもよかったポイントのひとつです。

今は社会学を専門とされている伊藤先生のゼミに所属していて、「SNSが発達した今、人と常につながってられるはずなのに、なぜ寂しさを感じるのか」というテーマに興味があります。コロナ禍以降に特に感じた疑問で、これを社会学の視点で研究してみたいです。また、このプログラムでは専門外国語として英語の授業も充実していて、語学をしっかり学べるのもよかったポイントです。

群馬大学の情報学部は「文理融合型」と言われるように、文系・理系の枠にとらわれず幅広く学べるのが大きな特長です。私自身も、1年生の時はいろいろな授業を受けてみて、その中から「自分の興味」を見つけて進路を決めることができました。

学業以外では、生協学生委員会に所属していて、新入生の履修相談会など、学生生活のサポート活動にも関わっています。忙しいことも多いけれど、10号館のエントランスや自習スペースなど、快適な学習環境が整っているのも、課外活動にも積極的に取り組んでいます。

将来については、まだ具体的には決まっていますが、ここでの学びを通じてたくさんのことを吸収して、自分に合った道をこれから見つけていきたいと思っています。

人文情報 PG 3 年
阿部 温人

北海道旭川東高等学校出身



時間割

★授業メモ

言語学的コミュニケーション論1

私たちが普段当たり前に行っている日本語や英語での「コミュニケーション」が、なぜ成り立っているのかを理論的に解き明かすのが面白い！

社会心理学

社会という集団のなかで、どのような心理的効果が生まれ、それが人々にどのように影響しているのかを学ぶ！身近な事例に落とし込んで考えるから楽しい！

	月	火	水	木	金
1 8:40 ～ 10:10					
2 10:20 ～ 11:50	歴史情報論	理論社会学	ソーシャルメディア論	プログラミング言語1A	マス・コミュニケーション理論
3 12:40 ～ 14:10		言語学的コミュニケーション論1	離散数学1		会計学1
4 14:20 ～ 15:50		英語201	専門外国語1-A	異文化コミュニケーション論	社会心理学
5 16:00 ～ 17:30					

(2年次前期の時間割)

社会共創プログラム

やりたいことが決まっていなくても

自身の興味を広げられる学部でした

概要

社会的課題の解決および社会目標の達成のためのシステムの構築や方策を提案できる能力を養成します。

このプログラムの科目は、四つのグループから構成されています。

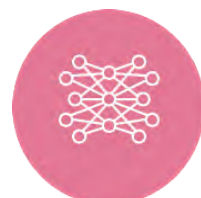
一つ目は、官公庁だけでなく社会の様々な組織における政策決定過程、政治・行政過程と情報とのかかわり、情報化社会にとって重要と思われる諸政策、情報と法との関連等を幅広く学ぶもので、「情報社会と人権」、「情報政治論」、「地方自治 1」、「情報法 1」、「環境法 1」などがこれに属します。

二つ目は、政策決定の指針となり、また行政の基準でもある重要な諸法律を学ぶもので、各種公務員試験や、資格試験に必要な伝統的な法学の諸分野が用意されています。「憲法 1」、「行政法 1」、「民法 1」、「経済法・知的財産法」、「企業法」、「刑法」などがあります。

三つ目は、経済システムの基本的メカニズムを学ぶもので、「経済学基礎論」、「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」といった総括的な取り扱いを行う科目と、「生活経済政策」、「金融論」などの各論的に展開する科目があります。

四つ目は、経済システムの中で生産・分配の機能を担当する経済主体である営利組織、非営利組織の構造、行動、成果に焦点をあてる経営学・会計学系統の科目があり、「経営学入門」、「経営組織論」、「経営戦略論」、「会計学 1」などです。

このように四つに分かれていますが、内容的には有機的に密接に関連しています。



情報政治論



情報社会と私法



情報法・行政法



経済学基礎論



政策情報論

学生の声

正直、大学に入るとき、明確に「これがやりたい！」というものはありませんでした。

高校時代に大学の情報系のプログラムに参加していたこともあり、なんとなく情報系には興味があったけれど、それ以上の具体的な進路は決められていませんでした。

そんな中で惹かれたのが、「文理融合型」の学び。

実は高校時代、自分が通っていた学科も文理融合的なカリキュラムで、個性的な友達に囲まれていました。文系とか理系とか、そういう枠に縛られずに学べる環境が、自分にとってすごくしっくりきていたんです。

だから、情報も学べて、なおかつ文理融合の要素を持つ群馬大学情報学部は、まさに理想的な場所でした。

その中でも「社会共創プログラム」は、政治や経済、社会のしくみといった、自分が興味を持っていた分野を幅広く学べるのが魅力でした。

今は経済学のゼミに所属しています。政治にも興味があったので迷いましたが、このプログラムでは経済に関する授業が充実していて、自然とそちらに惹かれていきました。今では経済だけでなく、政治や社会、国際関係など、幅広い視点から社会を見つめる学びができています。

大学生活では、授業の合間に課題を進めたり、隙間時間をうまく使ってアルバイトをしたり、時間の使い方を意識しています。特に重きを置いているのは、“たくさんの価値観に触れること”。

その一環として、今度、協定校であるスロベニアのリュブリャナ大学に半年間の留学に行く予定です。世界の多様な視点に触れながら、自分の視野をもっと広げていきたいと思っています。

また、1年次からサークルの部長を務めたり、ボランティア活動に参加したりと、学外の活動にも積極的に取り組んでいました。リーダーシップをとる立場はプレッシャーも大きかったですが、大人数をどう動かすか、組織をどう運営するかといったことを、経験を通じて学ぶことができました。

将来の夢は、まだ具体的な職業には落とし込めていないけれど、「周りにいる人を幸せにできる人になりたい」と思っています。いろんな価値観を尊重して、誰もが安心して意見を言える場をつくる—そんな人になれたらいいなと思います。

社会共創 PG 3 年
魚島 彩水

熊本県立鹿本高等学校出身



時間割

★授業メモ

地域社会学 1

我々が日々生活を送っている「地域」が、どのような歴史の上で成り立っているのかを学び、現在地域社会が抱えている問題に向き合う姿勢をもてる！

情報産業基礎論

インターネットなどの普及とともに、情報産業が経済全体に与える影響が大きくなっている現在、情報産業の歴史や特性、現在の通信産業市場について学び、理解を深める！

	月	火	水	木	金
1 8:40 ～ 10:10			経営科学		
2 10:20 ～ 11:50	地域社会学 1	憲法 1	行政法 1	プログラミング言語 1A	
3 12:40 ～ 14:10	ミクロ経済学	情報産業基礎論	離散数学 1		会計学 1
4 14:20 ～ 15:50	プログラミング演習 1 (DS)	英語 2 0 1			
5 16:00 ～ 17:30	民法 1				経営学入門

(2年次前期の時間割)

データサイエンスプログラム

データで社会を動かす

その思いからすべてが始まりました

概要

ビッグデータを情報システムを利用して収集する方法を設計し、データをもとに目的とする価値に適合した解決策を導く能力を養成します。

このプログラムの授業科目は四つのグループに分けられます。

第一に、データサイエンスの基礎を学ぶ科目です。「確率統計 2」、「多変量解析」、「機械学習」などがこれに該当します。

第二に、OR・意思決定科学に関する科目です。何かしらの意思決定が求められる場面で「どうするのがベストか？」を科学的に導き出すための理論を学びます。「経営科学」、「意思決定と社会的選択」などがこれに該当します。

第三に、新たな価値創造・調査・応用に関する科目です。調査や実験を信頼できるものにするための方法論や、データサイエンスの諸分野への応用を学びます。「調査・実験デザイン」、「医療AI」などがこれに該当します。

第四に、データエンジニアリングに関する科目です。大規模なデータの利活用を自らの手で行うためのスキルを身につけます。「プログラミング演習 1」、「画像処理」などがこれに該当します。



機械学習



確率統計



数理最適化



医療情報学



データ
エンジニアリング

学生の声

高校生のころから、世の中の課題をデータで分析して解決する考え方に興味がありました。そんなときに会ったのが「経営工学」。調べていくうちに、「これだ！」という直感があって、それを幅広く学べる場所として、群馬大学の情報学部を選びました。

実際に入ってみて感じたのは、とにかく学べる分野が広いということ。

もともと興味があった経営工学は、理系寄りの学問ではありますが、社会や人の動きを扱う点で文系的な視点も必要です。情報学部では、データ分析のような専門的なスキルに加えて、経済や社会の仕組み、心理など、幅広い知識に触れることができます。

周りの学生の学びも本当に多様で、「理系だけど経済を専攻している人」や「車の自動運転技術を研究している人」など、自分とは異なる視点からものを考える友人たちとの会話が、刺激になっています。

学内では、「群馬大学GFL(グローバル・フロンティア・リーダー)」というプログラムに参加しており、リーダーとして企画から運営まで携わってきました。正直うまくいかなかった企画もありました。でも、そうした経験を通して感じたのは、自分の弱さを受け入れることの大切さ、そして仲間とぶつかり合いながら支え合える関係の尊さです。

挑戦したいと思ったときに一緒に挑める仲間がいる。その環境が、私を大きく成長させてくれました。

また、留学生との関わりも多く、さまざまな国・目的を持った人たちとディスカッションする機会があります。いろいろなテーマについて話し合うことで、視野の広がりを日々実感しています。

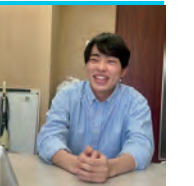
これから私は、大学院に進学して経営工学をさらに深く学ぶつもりです。

学部では理論や手法を身につけ、大学院ではそれらを活かしたより実的な研究に取り組みたいと考えています。将来の方向性も少しずつ見えてきていて、今学んでいることを、自分のキャリアや社会への貢献にしっかりつなげていきたいと思っています。

データサイエンス PG 3年

吉野 晃生

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校出身



時間割

★授業メモ

機械学習

AIや画像認識などを学び、自分自身で課題を設定して機械学習を実践！識別器を作れたり、テキストマイニングを行ってデータの特徴を分析したりといった近年話題の技術の仕組みをすべて興味深い！

調査・実験デザイン

どのような調査や実験が良いとされるのかや、決してしてはいけないことについて詳しく勉強！自分の調査や実験についてのみならず、社会で言われている通説がどの程度信用できる情報なのか自分自身で判断する力をつける！

	月	火	水	木	金
1 8:40 ~ 10:10		データ構造	調査・実験デザイン	意思決定と社会的選択	
2 10:20 ~ 11:50					機械学習
3 12:40 ~ 14:10			多変量解析	マクロ経済学	プログラミング演習 2 (DS)
4 14:20 ~ 15:50		英語 202		数理最適化	会計学 2
5 16:00 ~ 17:30					経営戦略論

(2年次後期の時間割)

計算機科学プログラム

面白いが原点

VR で教育を変える未来へ

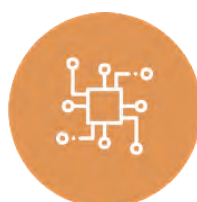
概要

計算機や情報ネットワークを数理的原理から理解し、人工知能や各種情報システムを研究開発できる能力を養成します。

このプログラムの授業科目は大きく二つのグループに分けられます。

一つ目は「基礎科目群」であり、情報科学に関する様々な知識や技術を修得するために必要となる基礎理論やソフトウェア開発に必要なプログラミング言語などの知識や技術を修得するための科目です。これには、「確率統計 2」、「離散数学 2」といった学部基盤教育科目の内容をより高度に学ぶ科目や「形式言語とオートマトン」のような計算機動作の数学的モデルを学ぶ科目、「プログラミング演習」のようなプログラミング技術を高める演習、「情報科学実験」のような計算機の仕組みを学ぶための実験などの科目があります。

二つ目は「応用・展開科目群」であり、「基礎科目群」で修得した知識や技術をベースにして、さらに情報科学における様々な分野の知識や技術をより深く学修するための科目です。これには、「人工知能」、「情報ネットワーク」のような現在世の中で広く利用されている情報技術の仕組みを学ぶ科目だけでなく、「デジタルシステム設計」のような計算機ハードウェアの設計に関する科目や「ソフトウェア工学」のようなソフトウェア開発工程に関する科目などもあります。



計算機システム



人工知能



情報ネットワーク



プログラミング言語



アルゴリズム

学生の声

受験のときは「絶対ここに入りたい!」という明確な志望はありませんでした。

実際に入ってみて、授業でプログラミングをやってみたら、それがすごく楽しくて。何をしているのか詳しくはわからなくても、「なんか楽しそう」「これ続けたいかも」って思えたことが、このプログラムを選ぶ大きなきっかけになりました。

もともとものを作るのが好きだったこともあって、手を動かして形にしていく情報の世界に惹かれました。さらに、動画編集やデザインなど、メディア系の分野にも興味があったので、今は計算機科学プログラムに所属しながらも自分の「好き」が活かせる環境を楽しんでいます。

大学生活では、ダンスサークルに入っていて、文化祭のステージ発表に向けた練習やイベント準備に夢中です。一方で、子ども向けのボランティア活動にも参加しています。大学生だけで子どもたちの一日のスケジュールを考えたり、遊びや学びの場をつくったり。子どもとの関わりだけでなく、ボランティアを支える大人の方々と接する中で、教育の世界にもだんだん興味が湧いてきました。

最近は、「教育×VR」で何か新しいことができないかな?というアイデアを温め中です。たとえば、体育の授業で実際に動きを体感しながら学べる VR 教材をつくるとか。自分がダンスをやっているからこそ、身体を動かして学ぶ楽しさを、テクノロジーと組み合わせて伝えていきたいなと思っています。

情報学部って、本当にいろんなことができる学部だと思うんです。プログラミングも、メディアも、教育も、VR も、全部「情報」というキーワードでつながっていて、自分の興味や経験をどんどん広げていける場所です。

将来のことはまだはっきりとは決まっていないのですが、「やってみたい」から始まる可能性が、ここにはたくさんある感じがしています。

計算機科学 PG 3 年

丸山 優香

長野県上田高等学校出身



時間割

★授業メモ

関数型言語

この授業では、「Haskell (ハスケル)」というちょっと変わったプログラムの言葉を使います! ゲームのルールを考えたり、パズルを解くような感覚でプログラムを考えるのが楽しい!

コンピューターグラフィックス

「CGがどうやって動くのか」「立体に見えるしくみは何か」を、数学的に学びます。映画やゲームに登場するリアルな映像や、3Dアニメの動きの裏側には、こんな数式があったのかと新たな発見があって楽しい!

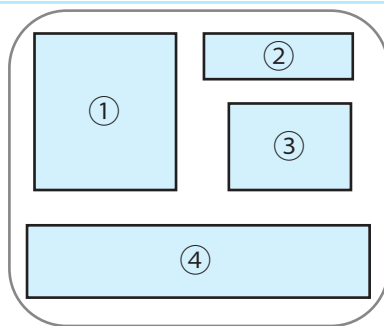
	月	火	水	木	金
1 8:40 ~ 10:10	融合型PBL 1 ICTを用いた教育機関の支援				
2 10:20 ~ 11:50		関数型言語	アルゴリズム 1	形式言語とオートマトン	計算機システム
3 12:40 ~ 14:10		プログラミング言語 3	コンピューターグラフィックス	情報科学実験 1	
4 14:20 ~ 15:50				情報科学実験 1	ソフトウェア演習 1
5 16:00 ~ 17:30				ゼミナール	

(3 年次前期の時間割)

教員紹介

このページでは、情報学部先生方を紹介します。先生方の専門分野・研究内容の紹介を五+音順で一覧にしました。情報学部では、さまざまな専門分野を履修できる環境が整っています。

自分の興味のある分野が見つかるはずです。



- 1 写真
- 2 名前
- 3 専門
- 4 研究内容



天野 一幸

- ・計算量理論
- ・アルゴリズム論
- ・機械学習

コンピュータを効率良く使用する方法や、その限界を数学的に解明する、理論計算機科学と呼ばれる分野の研究をしています。



荒木 徹

- ・グラフ理論
- ・組合せ最適化
- ・離散数学

ネットワークの構造を数学的に考える分野がグラフ理論です。グラフ理論における最適化は単純ですが難しい問題がたくさんあります。それらを効率よく解く方法を研究しています。



安藤 崇央

- ・ソフトウェア工学
- ・形式手法

ソフトウェア工学、特にソフトウェアライフサイクルの各段階に形式手法を適用する手法やツールについて研究・開発を行っています。また、近年ではスマートモビリティに関する研究にも携わっています。



奥 寛雅

- ・ダイナミックイメージコントロール
- ・高速画像処理
- ・高速光学デバイス

我々の周囲は人や車などが行き交う動的な環境となっており、このような環境に対応して高速かつ適応的に映像の計測や投影を行う技術を研究・開発して、次世代のメディアテクノロジーを創出することを目指しています。



奥貫 圭一

- ・地理情報科学
- ・都市工学

都市や地域のさまざまな問題に対して、データ解析の技法をとりいれながら、地理情報システム(GIS)をどのように活用していけば私たちの日常生活に役立てられるか研究しています。



柿本 敏克

- ・社会心理学
- ・グループ・ダイナミクス

人の社会性の諸相の探求。特に、環境問題や集団間関係をシミュレートする「仮想世界ゲーム」を使い、集団内・集団間のダイナミクスを探っています。持続可能な社会の構築に向けた学術的貢献を模索しています。



片山 佳代子

- ・疫学
- ・臨床統計学

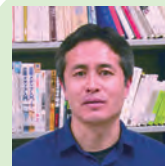
がんの予防研究や疫学研究を中心に医療ビッグデータを使った研究に従事しています。また解析結果をいかにわかりやすく国民に還元するか、情報発信の在り方や可視化に関する研究を行っています。



加藤 毅

- ・AI
- ・機械学習

AIは、昨今、急速に発展し、人間社会に深く浸透してきました。私は、AIに関する汎用的な技術の開発に加えて、環境工学や生物学など異分野におけるAIの応用の模索を行っています。



河島 基弘

- ・社会学
- ・メディア論
- ・倫理思想

メディアによる他文化表象の問題、人間と動物の関係がテーマです。最近では特に、食文化、道徳哲学、進化心理学などに興味を持っています。



石川 真一

- ・植物環境生理学
- ・植物生理生態学

温暖化や地域開発で生じた環境問題解決のための、生物多様性の保全・外来生物の抑制、地域生態系再生、ビオトープの育成管理方法の研究をしています。



井門 亮

- ・言語学
- ・語用論

話し手が発したことばを聞き手はどのように解釈しているのだろうかという疑問をもとに、ことばの意味やコミュニケーションの仕組みについて、言語学的観点から研究しています。



伊藤 賢一

- ・理論社会学
- ・情報社会学

(高度)情報社会とは何なのか、よりよい情報社会をつくるにはどうしたらよいのか、そもそもよりよい社会とは何なのか、といったことについて社会学や社会情報学の道具を使って探求しています。



河西 憲一

- ・待ち行列理論
- ・確率モデル
- ・情報通信ネットワーク

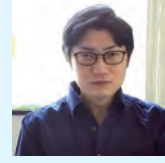
待ち行列理論や通信トラフィック理論と呼ばれる確率論を応用した数理工学的な手法により、インターネットや携帯電話網等の情報通信技術の基盤となる情報ネットワークを研究をしています。



金 宰弘

- ・会計学
- ・環境管理会計
- ・CSRマネジメント

企業が環境問題や社会問題にどのように取り組んでいるのかを、「マテリアルフローコスト会計(MFCA)」、「マネジメント・コントロール・システム(MCS)」といった会計手法や会計理論を用いて研究を行っています。



草野 邦明

- ・地理情報科学
- ・人文地理学
- ・地域人口学

地理情報システム(GIS)と小地域統計・地理空間データを用いて、地理学および人口学の視点から社会・経済的事象を明らかにする研究を行っています。



岩井 淳

- ・社会情報システム学
- ・意思決定支援論

「社会の幸せに結びつく情報化」が目標、インターネット上の匿名性やストレスの問題を考えつつ、社会的な意思決定の支援方法を研究しています。



江良 亮

- ・開発経済学
- ・実証経済分析

経済学を用いた実証分析を専門としています。現在関心を持っている対象は、地方の食品産業の生産性分析、限界集落の持続可能性、そして放送メディアの今後になります。



王 緒

- ・データ包絡分析
- ・効率性評価・分析
- ・オペレーションズ・リサーチ

経済のグローバル化が進む中、企業などの事業体が効率的に運営されているかを評価する指標の策定や的確な改善方針の設定が喫緊の課題となっています。こうした課題に対応し、新たな評価手法の開発と実証実験に取り組んでいます。



小竹 裕人

- ・公共政策論
- ・低速度交通

特定の人や場所に公共サービスを提供するのは公平性に問題があるとされています。地域では買い物弱者問題などの特定の場所に社会的課題が生じていて、それらを公共的に解決するための研究を行っています。



齋藤 翔太

- ・情報理論
- ・機械学習
- ・情報理論的セキュリティ

デジタルデータの圧縮や通信に関する数学理論である情報理論を研究しています。また、情報理論を機械学習や情報理論的セキュリティの分野へ応用する研究も行っています。



坂田 勝彦

- ・社会学
- ・生活史
- ・地域社会学

私たちが日々の暮らしを営む地域社会にはそれぞれに固有の成り立ちと課題があります。そうした地域社会の過去と現在の関係について研究しています。



大澤 新吾

- ・ネットワークの構成
- ・分散アルゴリズム

コンピュータ・ネットワークをグラフでモデル化し、それらの構成方法や構造を研究しています。また、分散アルゴリズムの研究を行っています。



大塚 岳

- ・非線形解析学
- ・応用数学

結晶で見られるような多面体構造や、界面が成長することで生じる界面の衝突・融合・生成・消滅などを含めて、モノの形を変化させる様子を未知関数の方程式として数学的に捉え解析する研究と、その応用を行っています。



大野 富彦

- ・経営学
- ・サービス・マネジメント
- ・経営組織論

観光地・温泉地の価値共創プロセスとそのマネジメントのあり方について、個別企業(旅館等の宿泊業が中心)と地域の両面から研究しています。



坂本 和靖

- ・計量経済学
- ・労働経済学

数量データを用いて、社会保障制度が人々の行動・満足度を与える影響を検証し、望ましい働き方・家庭生活のあり方について研究しています。



柴田 博仁

- ・ユーザインタフェースデザイン
- ・認知科学

道具次第では賢くもなり、愚かにもなります。人を賢くする道具を作りたい。特に興味があるのは読み書き。ICTを用いた読み書きのための新たな環境構築を目指します。



嶋田 香

- ・データ科学
- ・知能情報学

進化、免疫、群知能といった生物界にみられる種々のメカニズムを参考にしたい新しい情報処理技術に関心を持っており、大規模化・複雑化するデータの分析に役立つアルゴリズムやその応用法を研究しています。



地村 弘二

・認知神経科学
・神経情報学

ヒトの脳と心の関係を、現代科学の方法で理解することを目指しています。とりわけ、ヒトを特徴づけるような心の機能が、脳にどのように実装されているかを、情報学的・生理学的・心理学的に知りたいと思っています。



杉山 学

・オペレーションズ・リサーチ
・経営科学

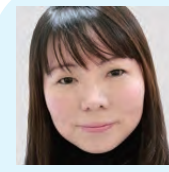
オペレーションズ・リサーチや経営科学と呼ばれる学問分野(OR/MS)が私の主な専門です。特に総合評価を行うための数理的意決定支援手法の開発や実証分析を中心に研究しています。



高木 理

・医療情報学
・データセキュリティ

病院情報システムや学習管理システム上に蓄積される秘匿性の高いデータを、如何にして、プライバシーを保護しつつ、有効に活用していくのかを研究しています。



安川 美智子

・社会情報学
・図書館情報学

情報検索システムの検索有効性を向上することを目的として、検索関連語を用いた分類型検索の応用的研究という観点から、多言語対応の分類型検索システムの開発に取り組んでいます。



結城 恵

(2026年3月退職予定)

・教育社会学
・多文化共生
・キャリア教育
・異文化
コミュニケーション

人的多様性(ダイバーシティ)を活かす多文化協働の仕組みづくりと人材養成のあり方を探るため、外国人留学生や定住外国人に焦点を当ててアクションリサーチを展開しています。



吉川 正人

・理論言語学
・コーパス言語学

日ごろ当たり前のように使っている「ことば」について、その「本質」を解き明かすべく、記憶や意識、社会規範など様々な観点から理論的な研究を行っています。



千田 浩司

・情報セキュリティ
・データプライバシー
・暗号技術

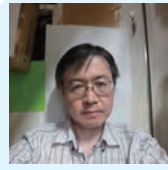
個人情報を含む様々なデータを安全に活用できるようにする技術や仕組みの研究をしています。



鳶島 修治

・計量社会学
・社会階層論

学力調査や社会調査のデータを用いた計量分析を通して、家庭背景による教育機会の格差・不平等が生み出されるメカニズムについて研究を行っています。



長井 歩

・人工知能
・機械学習
・探索

古文書のくずし字を深層学習で認識する研究を行っています。今後は自然言語の情報を上手に反映させる方針です。最近是将棋の研究にも時間を割くようにしています。



中野 眞一

・アルゴリズム
・最適化

様々な問題を、少しだけのメモリを使って、高速に、簡単に解く、アルゴリズムの設計技術を開発しています。この技術を使って、世界最速のアルゴリズムを多数開発しています。



永野 清仁

・最適化理論
・機械学習
・ネットワーク最適化

人間関係や道路網など、多くの現象はネットワークとして扱えます。ネットワーク等を題材に、数学的手法を世の中の役に立てるための研究をしています。



西村 尚之

・森林生態学

森林の成り立ちや移り変わりのメカニズムに関する研究や、長期的な観測によって森林に及ぼす人間や自然攪乱の影響に関する研究を行っています。



西村 淑子

・行政法
・環境法

ハンセン病政策、旧優生保護法の下で行われた不妊手術等による被害とその救済について研究しています。



平田 知久

・近・現代思想史
・比較社会学
・社会史

東(東南)アジアの情報メディア技術の普及と伝播を、各国比較と歴史の変遷から描写し、未来の情報社会の姿を、メディアと技術に関する思想的な知見を考慮に入れて提示することに研究の主眼があります。



藤井 正希

・憲法学

第1のテーマはマスメディアの活動を適正化するための憲法論の研究。また、憲法9条の永久平和主義を実現・発展させる研究や生存権を積極的活用する研究にも興味があります。



細野 文雄

・並列／分散処理
・Webマイニング

現在は対面型シミュレーションゲーム「仮想世界ゲーム」の電子化に関する研究をしています。



松宮 広和

・経済法
・知的財産権 他

経済法、知的財産権法および情報法の観点から、科学技術の発展が既存の法制度に与える影響を情報通信の領域を中心に研究している。



宮田 洋行

・組合せ論
・アルゴリズム理論

アルゴリズムの理解を深める数学、また数学を理解するのに助けるアルゴリズムを研究しています。

情報学部が強みを活かそう！

情報学部には、様々な専門分野の教員がそろっています。「本当にやりたいことがわからない」、「情報の観点から多くの分野を学びたい」という学生にとって、文理横断型教育の本学部は最適な環境だと思います。文理にとらわれず課題にアプローチできるという情報学部ならではの強みを活かし、自身の夢を追いかけてみませんか？



みなさんのご入学を心からお待ちしています！！

文理融合ポイントその1

文系・理系の4つのプログラムの人が
集まって研究!!

PBLとは?

「Project Based Learning」の略称で、「課題解決型学習」や「問題解決型学習」「プロジェクト型学習」などと訳されています。情報学部では3年次に融合型PBLの講義を履修します。学生が自ら課題を解決する能力を養うための講義です。

目的

人文・社会と自然科学の諸学を通じて全体を統括できるような視点を養うとともに、実社会の課題に対してデータサイエンスの知識を用いて解決策を提案する能力を養うことが目的です。

受講生インタビュー

受講テーマ：派遣事業企業における手作業の管理運営業務に関する運用設計

近年、派遣事業では法改正により書類作成業務が増加しました。しかし各社で書類様式が統一されておらず、業務効率化や自動化が困難になっている問題が浮かび上がっています。

私たちはこの課題に対し、まず業務に必要な書類と項目を法律から洗い出すことから着手しました。その後グループごとに自動化の実現に向けた検討を重ね、情報入力から書類作成までを一貫して行えるシステムの構築を目指しました。



文理融合型の本講義では、それぞれの専門分野を活かし、多角的な視点から課題に取り組むことができます。各々の知見を融合させることで、より実践的な解決策を探求できたと感じました。

実際のシステム開発の流れに沿った講義内容は、単なる知識習得に留まらず、業務に関する理解を深める貴重な機会となりました。

(計算機科学プログラム4年 西澤萌 長野県 屋代高等学校出身)

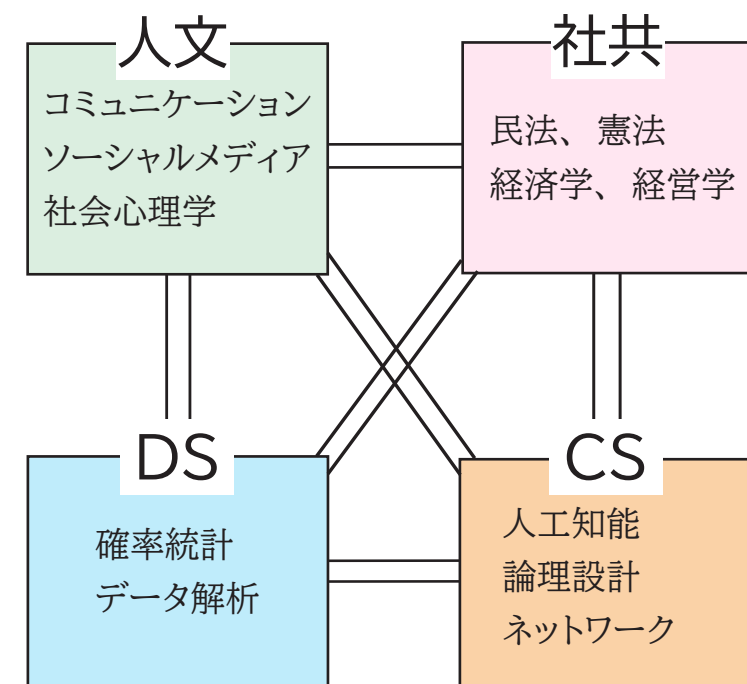
文理融合ポイントその2

1年次は共通科目
2年次以降はプログラムに分かれる
しかし他プログラムの科目も学べる!

1年次

共通科目 情報社会と倫理、情報社会基礎論
選択科目 微分積分学、情報メディア基礎論 など

2年次



3年次

4年次 卒業研究

他プログラムの
科目も受けられる!

必修

プログラミング
・文系:Python
・理系:C言語

PBL
ゼミ

教授の元で研究
他プログラム学生も!

学部生生活

このページでは、情報学部生の履修やバイトについて掲載！
未来をイメージするために覗いてみよう！！

のあさんの1週間

2024年後期の生活

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
・午前中買い物 ・1日おでかけ ・夕方にバイト -ファストフード店	・講義後に部活 -剣道部	・講義後に サークル -YMCAくらぶ	・講義後に バイト -寿司屋
金曜日	土曜日	日曜日	
・講義後に バイト -ファストフード店	・バイト 午前と午後で 別々のバイト ・空き時間で 動画の勉強	・バイト 午前と午後で 別々のバイト ・空き時間で 動画の勉強	・週によっては サークル -YMCAくらぶ

バイトの理由

飲食 - 寿司屋
飲食 - ファストフード
事務 - テレビ局

時給が良く、賄いもあったので選びました
接客の仕方などの学びや入りやすさ優先で
将来メディア関連の職業に就きたくて、バイトで経験を積むことを目的に決めました！

計算機科学PG 2年
神奈川県立大船高等学校
小澤 乃綺

1年次の時間割

	月	火	水	木	金
1 08:40 10:10				情報社会 基礎論	学びを構築 する
2 10:20 11:50		英語101	地域企業と サービス・ マネジメント	日本国憲法	
3 12:40 14:10	線形代数学 1	健康教育論	学びの リテラシー1	微分積分学 1	情報メディア 基礎論
4 14:20 15:50	データ・ サイエンス	考古学・歴 史学入門		情報社会と 倫理	情報科学入門
5 16:00 17:30					

情報学部の科目
■ 必修科目
■ 選択必修科目
■ 教育基盤科目
■ 必修科目

教育育成科目
■ 人文科学科目
■ 社会科学科目
■ 健康科学科目
■ 外国語教養科目
■ 総合科学科目

注意：これは2024年度の履修です

履修の理由

計算機に進むにはGPAが必要なので最低限を意識してました。総合科学科目の3つは興味のあるものだったので選択しました！

プログラム希望理由

映像・画像系に興味があって、関連するプログラミング(C#やPython)を学べる計算機科学を選びました。ですがメディア関連も学びたかったため、2年次でメディア系を学んでいます！

新入生にメッセージ

時間を有効的に使おう！1年生のうちにやりたいことをやっておいたほうがいい！

	月	火	水	木	金
1 08:40 10:10		宮沢賢治を 読む		経済学基礎 論	
2 10:20 11:50		英語102			多様性(ダイ バーシティ) について考 えよう
3 12:40 14:10			データサイ エンス応用	微分積分学 2	
4 14:20 15:50		広報・PR 入門	Python 入門	基礎情報処 理演習	確率統計1
5 16:00 17:30					

さつきさんの1週間

2024年後期の生活

月曜日	火曜日	水曜日	
・講義後に バイト -アパレル	・場合によっては バイト後に カラオケ	・講義後に 友達と遊び -ボードゲーム など	
・講義後に 部活 -硬式テニス			
木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
・講義後に バイト -アパレル	・講義後に 部活の自主練習 この曜日の自主練 人が多く集まる	・午前中は部活 ・午後はひとり の時間 溜まった課題など ここで終わらせる	・バイト -アパレル

バイトの内容

アパレル系

主に接客、商品管理をしています！ときには従業員同士で販売計画を立てたりもしています。
経営を間近で学ぶことができ、大学で学んだことも活かすことができとても楽しいです！！

社会共創PG 2年
埼玉県 本庄東高等学校
福永 颯生

1年次の時間割

	月	火	水	木	金
1 08:40 10:10				情報社会 基礎論	学びを構築 する
2 10:20 11:50	情報社会と 人権	英語101	ドイツ歌曲 概説		
3 12:40 14:10	線形代数学 1	健康教育論	学びの リテラシー1	微分積分学 1	情報メディア 基礎論
4 14:20 15:50	データ・ サイエンス	韓国語基礎 I	韓国語基礎 実践I	情報社会と 倫理	情報科学入門
5 16:00 17:30		知っておきたい 男女の対話 とワークライフ バランス			

情報学部の科目
■ 必修科目
■ 選択必修科目
■ 教育基盤科目
■ 必修科目

教育育成科目
■ 人文科学科目
■ 社会科学科目
■ 健康科学科目
■ 外国語教養科目
■ 総合科学科目

履修の理由

行きたいプログラムを決めていなかったの、どのプログラムにも配属できるよう、第二言語や微分積分学、線形代数学を取っていました！

プログラム希望理由

社会共創では経営、経済、法など学べる種類が豊富(法でも民法、憲法など)で、さらに、公共政策、地方自治などの幅広い分野を学べるため、社会共創にしました！

新入生にメッセージ

情報学部はグループ活動が少ないため、コミュニティを広げるために部活やサークルに入るのがおすすめ！

	月	火	水	木	金
1 08:40 10:10		遺伝と遺伝子、その情報 管理		経済学基礎 論	
2 10:20 11:50	研究方法 基礎論	英語102		日本国憲法	データサイ エンスAI・ 機械学習
3 12:40 14:10	微分積分学 2		データサイ エンス応用	線形代数学 2	マスメディア 基礎論
4 14:20 15:50		韓国語基礎 II	韓国語基礎 実践II	基礎情報処 理演習	確率統計1
5 16:00 17:30					

情報学部

Q&A

現在、在籍している情報学部生に
情報学部に関するあれこれについて
聞いてみました！

回答は情報学部の学生から実際に答えてい
ただいた回答の一部です！

Q1: 情報学部を志望した理由を教えてください

A1:
群馬大学の情報学部は文理融合の学部
だったため、幅広いことが学べ、多くの
知見が得られると思ったから。

A2:
データサイエンスの基礎分野につい
て勉強してみたかったから。

A3:
昔から情報機器を扱うことが
好きでプログラミングなどをし
てみたいと思ったから。

Q2: 文系の人も数学などの理系科目についていけますか？

A1:
文系、理系ともに必修で数学があるのですが、必修の数学は文系
と理系クラスに分かれているのでついていけると思います。もちろ
んやっている内容は数Ⅲの内容で理系の人と同じなので難しいと感じ
ることもあると思います。
でもなんとかできます！私はわからない問題があった時には友達と
協力しあったり、理系の友達に教えてもらうなどしていました。

A2:
ついていけると思います。
講義をしっかり和受けることと、与えられた
課題を忘れずに取り組むことが重要だと思
います。少なくともこれらをこなして真面目に
授業に向き合えば、単位を落とすことはない
と思います。

Q3: 文系と理系の人ではどちらが多いですか？

A1:
理系の方が多く感じます。
2025年度の2年生は約7割の学生が理系のプログラムに進み、
文系は約3割の学生が文系のプログラムを希望していました。
ですが、文理融合なので高校時代に理系だった人が文系のプロ
グラムに進んでいる人もいて、本質的には文理に囚われていな
いような気がします。

A2:
ほぼ同じくらいに感じるが、若干文系が
多いかも
学年によって差がある。

Q4: 情報学部ではどのようなことが学べますか？

A1:
メディア系の情報も、データサ
イエンス系の情報も学べるので
文理関係なく幅広く学べること
ができると思います。

A2:
いわゆる文系と理系の両方の分野に
ついて、選択的に学ぶことができる。
特に理系だと、プログラミング・離
散数学・統計学などを学ぶ機会が
充実している。

A3:
情報分野に限られていない、
教養的なことが学べる。
(1年生のうちは専門分野はほ
ぼない)

Q5: 高校生のうちからパソコンに慣れていた方がいいと思いますか？

A1:
慣れておいた方が確実に有利。
大学では、レポート(課題)作成やプログラミングをする
にあたって、パソコン操作が必須となる。
そのため、高校生のうちにタイピングや基本的なソフト
(Word, Excel, PowerPoint など)は慣れておくべき。

A2:
慣れていなくても大丈夫だと思います！

A3:
そんなことはないと思います。
私はどちらかというとデジタル技術には疎い方でした。
大学で一から教えてくれるので大丈夫です。

回答にもあらわれている通り、学生の回答をそのままお届けさせて
いただきました！！

意見が学生によって異なる回答もあり、
気になった回答があったのではないのでしょうか？
少しでも Q&A が読んでいる皆さんの参考になっていたら幸いです！！

留学と GFL

そうだ、留学をしよう

群馬大学は海外の大学と国際交流協定を締結し、交換留学制度を設けています！春休み・夏休み中に、1週間から1ヶ月程度の短期研修プログラムを実施しています。

交換留学制度による留学生派遣の説明会「留学フェア（全学）」は毎年5月下旬に開催しているので、ぜひ参加してみてください！

- ①ヤギェウォ（ポーランド）
- ②カーロリ・ガシュパール（ハンガリー）
- ③リュブリャナ（スロベニア）
- ④フィレンツェ（イタリア）
- ⑤ザグレブ（クロアチア）
- ⑥サンディエゴ州立（アメリカ）
- ⑦南洋理工（シンガポール）
- ⑧ウーロンゴン（オーストラリア）
- ⑨建国（韓国）⑩嶺南（韓国）
- ⑪世新（台湾）⑫東海（台湾）⑬台北教育（台湾）



群馬大学では、グローバルフロンティアリーダー（GFL）の育成に力を入れています

グローバルフロンティアリーダーとは、

1. 国際理解を含む幅広い教養
2. 日本語・外国語による優れたコミュニケーション能力
3. 国内外において主体的に活動できる力を持つ人を指します。

情報学部GFL育成コースでは、以下の特徴を持つ学生をの養成を目的としています。

- ・世界と地域をつなぐグローバルな視点を持つ
- ・情報分野における研究・開発・課題解決の場面で積極的に活躍するフロンティアリーダー

留学体験記

私は平和学習をメインとしたヤギェウォ大学に留学しました。ディーキン大学に行こうと考えてたけど、ヤギェウォ大学の方が新設され、ウクライナの人と交流が今でないと経験できないことがあると感じたのでこっちに決めました。

私の留学ではこのような流れでした。3,4日目の交流ではもうすこし日本のことを知るべきだなって思った。日本に2回留学経験のあるポーランドの人と話をしたけど、知らない地名をバンバンと出しおるから。私、全然日本のこと知らないんだなって。留学を通して日本を知って、見えてない魅力、面白いことが日本には意外とあるなと思った。

6日目のディスカッションはウクライナの人たちとの違いが見えたかな。日本はもう比較的平和だから、平和の維持の方向ってというのが結構強かったのよ。ウクライナの方は、戦争が現在で起きている人たちだからもっと日常的な部分で考えて。SNSとかで情報のファクトチェックをちゃんとしましょうとか、正しい情報をしっかりと掴みましょうとか。語彙力や知識が全然足りなくて。踏み込めた話ができなくて残念だったね。

- 1日目 時差ボケを直すためにゆっくり過ごす
- 2日目 アウシュビッツ強制収容所に訪問。ホロコーストの脅威など実感
- 3,4日目 ヤギェウォ大学生との交流。日本語学生や日本語サークルの参加
- 5日目 ポーランドからワルシャワへ移動
- 6日目 ワルシャワ大学にて、平和の仕方、維持のディスカッション
- 7日目 シベリア孤児記念小学校へ訪問し、日本の紹介を行う。ワルシャワ大学で院生の方から平和に関する発表を聞く



森兼 峻太
計算機科学PG2年
私立名古屋中学校・高等学校

GFL生のインタビュー

——自分が成長する機会を
与えてくれる場所——

僕は小さいころ、アメリカに滞在する期間があって。そこで日本と違う文化や価値観に触れて、見えてくる景色が、まるで世界が広がった感じがして。で、興味を持って海外での活動を将来的に行いたいと思い、GFLに入っているいろんな人の価値観を知りつつ、国際交流の方法を学んでいます。

GFLは留学生とかも結構関わるため、いろんな人達と出あって、先輩たちとのつながりもできて。また、プレゼン能力やコミュニケーション能力を学び、身につけられたと思ってます。また、事務の方と連絡する必要もあるため、簡単なメールの書き方も学べます。

最終的には、海外に行っても活躍できる能力が身につけられるかもしれません。



穴戸 恒星
GFL2年学部リーダー
データサイエンスPG
栃木県立足利高等学校

僕のGFLのイメージとしては、
自分が成長する機会を与えてくれる場所です。
留学や県知事との懇談会での意見交換したり、自主企画を開催したりできます。
自己成長の機会を多く受けられるため、そう感じる人がいれば
是非GFLに一度訪れてはいいかなと思います。

GFL生の流れ

GFL生になるためには、

1. GFL特別枠入試を受ける
 2. 入学後に応募・選考を受ける
- の2つの流れがあります。

お問い合わせ
gfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp

募集について

Examination Subjects

日本語面接(冒頭に1分程度の自己アピールや志望動機を英語で行う)
TOEFL ITPまたはTOEFL iBTのスコアシート提出

Exchange Programs

中央上記に掲載されている
大学との交換留学プログラム

Period

1ヶ月～1年まで

詳しい内容はコチラから→



Contact

再度掲載しますが、留学フェア（全学）は5月下旬に開催しています！

お問い合わせ
intl-office@ml.gunma-u.ac.jp

	11月	12月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	9月下旬
1	学校推薦型 選抜	合格 発表	活動開始 GFLet'sでセミナー講義	募集案内	サマーセミナーの 企画や準備	サマー セミナー	応募選考	ともに活動 模擬国連 Global Awareness	
2									

昨年の進路情報

●公的機関（国家公務員）

防衛省 / 財務省関東財務局 / 関東信越国税局 / 東京高等裁判所

●公的機関（地方公務員）

群馬県 / 群馬県警察 / 前橋市 / 伊勢崎市 / 渋川市 / 黒部市

●情報通信業

両毛システムズ / ジーシーシー / NTT データ / NTT コムウェア / NTT テクノクロス / 電通総研 / キヤノン ITソリューションズ / リコージャパン / フォーミュレーション I. T. S. / 日本サーバ / マーブル / デジタルガレージ / 長野朝日放送 / アルファシステムズ / CATENAS / ソフトビューベリオン / SCSK / SCSK ニアショアシシステムズ / トラストシステム / 日販テクシード / アヴァント / SMS データテック / アルプスシステムインテグレーション / エクシオ・デジタルソリューションズ / 鈴与シンワート / アイ・エヌ・ジーシステム / ソフトクリエイティブホールディングス / ジャステック / Vitalize / 東京コンピュータサービス / ジール / アーキテクトコア / アシスト / DNP デジタルソリューションズ / リブセンス / ティ・エス・ネットワークス

●金融業

群馬銀行 / 東和銀行 / 桐生信用金庫 / 常陽銀行 / 全国労働金庫協会

●小売業

ビックカメラ / ベルク / スギ薬局 / プリマベアラ

●生活関連サービス業、娯楽業

くらしの友 / A3 / たかさきコミュニティシネマ

●サービス業

マイナビ / SB テクノロジー / 大和総研 / サンボウ / ネオキャリア / UT エイム / エン・ジャパン / きららグループホールディングス / ID ホールディングス / 船井総合研究所 / テコテック / プロントコーポレーション

●広告業

電通プロモーションエグゼ / ソフトコミュニケーションズ / プレシジョンマーケティング

●化学工業、石油・石炭製品製造業

群栄化学工業

●保険業

東京海上日動火災保険 / 大同生命保険

●卸売業

丸金 / 住友商事マシネックス / 東京鋼鐵 / フカサワ

●運輸業

東日本旅客鉄道 / 上田交通 / サカイ引越センター / SBS 東芝ロジスティクス

●電気・ガス・熱供給・水道業

J-POWER

●電子部品・デバイス・電子回路製造業製造業

日東電機製作所 / 澤藤電機 / アドバンテスト / 横河電機

●建設業

一条工務店 / 大成温調 / グランディハウス

●学校教育

筑波大学 / 東京歯科大学 / 栃木県幼小中高特別支援学校

●その他

群馬県スポーツ協会 / Next Generation / 大学院進学（群大 27 名・他大学 11 名） / 海外留学（1 名）

キャリアサポート体制



キャリアサポート室

キャリアサポート室は、学生の進路実現を支援するために、学年に応じたキャリア形成やインターンシップ準備を行っています。求人情報や公務員試験案内、先輩の就活記録などの資料も充実しており、キャリアカウンセラーが進路・就職・生活面の幅広い相談に対応しています。



特徴ある取り組み

キャリアサポート室では、学生の皆さんが納得のいく就職活動を行えるよう、支援体制の充実に力を入れています。

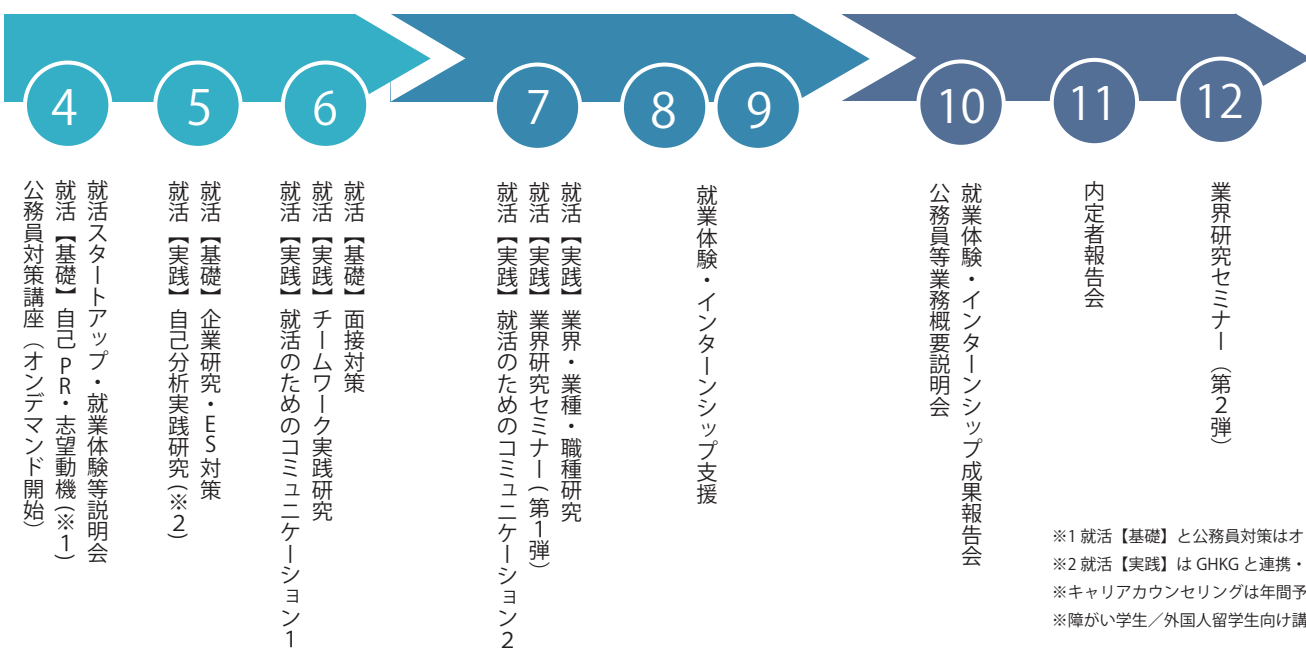
- 学生のみなさんが、自分自身で採用情報を収集し管理するアプリ「ぐんだい進路」の導入
- 就職活動を【基礎】→【応用】→【個別】の流れで展開する伴走支援
- 障がい学生や外国人留学生など、多様性に対応する就職支援の展開



就業体験・インターンシップ等

在学中に行う就業体験・インターンシップ等では、貴重な経験が得られます。受け入れ先として、スズラン百貨店前橋店、NTT テクノクロス、SCSK、スター精密、ネットワークシステムズ、ビッグロブ、インターネットイニシアティブ、セイコーエプソン、両毛システムズ、群馬テレビ、埼玉県庁、群馬県庁、札幌市役所、伊勢崎市役所、横浜市役所、新潟市役所、太田市役所、藤岡市役所

schedule



※1 就活【基礎】と公務員対策はオンデマンド
※2 就活【実践】は GHKG と連携・対面
※キャリアカウンセリングは年間予約制で実施
※障がい学生／外国人留学生向け講座はオンデマンド

大学院・情報学研究科

情報学研究科では、社会が現代の情報学に要求する広範な分野に対応するため、情報科学プログラムと社会情報学プログラムを開設し、情報科学から人文科学、社会科学に渡る幅広い学びと研究の機会を提供します。ここでは、学部で修得した AI、データサイエンスなどのスキル、知識をより先端的・実践的な場面で活用する能力を養うとともに、情報技術と関係する多様な専門分野について理解と洞察を深め、先端的な研究に携わる能力を養います。また、情報学に関係する諸分野の概要を学べる科目を提供し、各研究分野と実社会との関係について気づきと洞察を得る機会を提供します。



「2026年度入学者選抜に関する要項」および「2026年度学生募集要項」で最新の情報を確認してください

募集人数

入学定員	学校推薦型選抜	総合型選抜	帰国生選抜	社会人選抜	私費外国人留学生選抜	一般選抜	
						前期日程	後期日程
170 名	50 名 (※)	若干名	若干名	若干名	若干名	96 名	24 名

昨年度志願者・合格者・合格者平均点

	募集人数	志願者	合格者	合格者平均点			
学校推薦型選抜	50 名	100 名	51 名				
総合型選抜	若干名	9 名	3 名		満点	共通テスト	総得点
前期日程	96 名	245 名	117 名	一科目判定	1350 点	618.21	936.02
				二科目判定		631.64	947.70
後期日程	24 名	341 名	28 名	小論文重視型	1350 点	657.38	968.38
				共通テスト重視型	1050 点	707.36	781.11

入試について

総合型選抜 (iTFL 入試)

総合型選抜 自分だけが持っているスキルを活かして戦う！！
プログラミング等の高度な情報技術を持った高校を対象とした入試方法
『iTFL 入試』とは…？「iTFL (Information Technology Frontier Leader) 入試」
合格者の希望等に応じて右記 2 プログラムへ

情報学部
データサイエンスプログラム
計算機科学プログラム

《出願要件》

合格した場合は入学することを確約でき、情報系や科学技術系コンテストの参加歴又は入賞歴(官公庁、自治体、研究会、大学及び企業等が主催するもの)がある者
※出願する際に、「実績報告レポート(A4 用紙 1 枚両面、形式自由)」を提出
※総合型選抜「外国人生徒等入試」については群馬大学HPをご確認ください

プログラミングなどが得意な方にオススメ！！

学校推薦型選抜

学校推薦型選抜とは…？

先生方に自分のやりたいことや興味のあること、
熱量を直接言葉で伝えられる！
小論文と面接で入試を行う

高校三年間で頑張ったことを伝えたい人
大学に入って学びたいことがある人
入りたいプログラムが明確に決まっている人
にオススメ！！

《選抜方法》
一般枠

面接：個人面接(15分)、面接員複数人
小論文：文系型、あるいは理系型のいずれかを当日選択
備考：小論文の得点は素点とするが、
得点調整を行うことがある

プログラム特別枠・GFL特別枠

面接：個人面接(20分)、面接員複数人
小論文：文系型、あるいは理系型のいずれかを当日選択
備考：小論文の得点は素点とするが、
得点調整を行うことがある

一般選抜

	前期日程	後期日程
配点	大学入学共通テスト 950点 学力検査 400点	(後期・共通テスト重視型は100点)
大学入学共通テスト・利用教科・科目	利用教科・科目は、前期後期ともに、全型共通科目にa・bのいずれかの型を加えたものになります	
	全型共通	a
	国語	『国語』 必須
	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 必須 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 必須
全型共通	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 必須
	情報	情報Ⅰ 必須
	地理	『地理総合、地理探求』、『歴史総合、日本史探求』、『歴史総合、世界史探求』、『地理総合/歴史総合/公共』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 必須
	歴史	『地理総合、地理探求』、『歴史総合、日本史探求』、『歴史総合、世界史探求』、『地理総合/歴史総合/公共』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 必須
全型共通	公民	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 必須
	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 必須
	地理	『地理総合、地理探求』、『歴史総合、日本史探求』、『歴史総合、世界史探求』、『地理総合/歴史総合/公共』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 必須
	歴史	『地理総合、地理探求』、『歴史総合、日本史探求』、『歴史総合、世界史探求』、『地理総合/歴史総合/公共』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 必須
全型共通	公民	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 必須
	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 必須
	地理	『地理総合、地理探求』、『歴史総合、日本史探求』、『歴史総合、世界史探求』、『地理総合/歴史総合/公共』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 必須
	歴史	『地理総合、地理探求』、『歴史総合、日本史探求』、『歴史総合、世界史探求』、『地理総合/歴史総合/公共』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 必須

数学または英語のいずれか1科目、
もしくは2科目を出願時に選択

出題範囲などについての詳細は

学生募集要項をご確認ください

小論文：文系型・理系型を当日選択

文系型：広く現代社会に関する諸問題への関心度と理解度をみるとともに、
勉学に必要な、長文読解力、論理的思考力、文章表現力等を試す問題
理系型：事象を数理モデル化し、必要なデータを活用して合理的な解を得て、
その解や解の導出過程を筋道立てて論理的に説明する能力を試す問題

数学だけでも英語だけでも受験可能！！

文系型理系型選択できる！！

幅広い入試方法！！文系の人でも理系の人でも受験できる！！

受験料・授業料などについて

検定料：17,000 円

入学料：282,000 円

(免除や徴収猶予あり)

授業料：年額 535,800 円 (半期 267,900 円)
毎年 5 月、11 月に半期分を納入

その他入試について

帰国生・社会人選抜、第3年次編入学試験などに関しては
群馬大学HPよりご確認ください

入試関連のお問い合わせ先

学務部学生受入課
TEL:027-220-7150、7151、7152
〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2
群馬大学情報学部教務係
TEL:027-220-7404
〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

情報学部活動

パンフレット制作委員会

情報学部では学生自らで学部パンフレットを制作しており、学部公認のパンフレット制作学生委員会として活動しています。
パンフレットの内容を毎年企画し、時には取材、時にはデザインを制作しております。

マスコミ・編集・デザイン系の分野に興味がある人、新しいことにチャレンジしたい人、
いろんな人と繋がりたい人も大歓迎です！
私たちと一緒に、オリジナリティのあるパンフレットを制作していきましょう！！



SIJ

SIJ(Social and Information Journal)は、群馬大学情報学部を拠点とする、
フリーペーパー冊子作成サークルです。
企画や取材、写真撮影やデザイン、編集を行い、学生のみでゼロから冊子を作り
上げます。

冊子制作に興味がある人はもちろん、取材・デザイン・文章・写真のどれか一つ
でも興味を持ったそこのあなた！ SIJで冊子制作の楽しさを味わってみませんか？
たくさんのお会いや学び、発見があなたを待っています。私たちと一緒に、新たな
歴史を作りましょう。



編集後記

プログラム紹介と教員紹介を担当しました。
時間をかけて作成したので、ぜひ何度も読
み返してみてください！ 町田 陽菜

本学部には、挑戦を応援する環境と、人との
つながりがあります。そんな魅力がこの一
冊に詰まっていたら嬉しいです。 林 朋奈

学部プログラムの特色が伝わるのはどの時期の
時間割か、選定に悩みました。 伊波 純奈

学部生の体験談をもとに作成しました。多くの
人の手元に届き、進路選びの参考になれば
嬉しいです。 栗本 望来

パンフレットを制作することで、今まで気づ
けなかった情報学部の新しい魅力に気づくこ
とができました！ありがとうございました！

島田 朋佳

このパンフレットは、様々な人の協力なしでは
完成できないものでした。この場を借りて、
感謝の言葉を送ります。皆様本当にありが
とうございました！ 安西 凛音

スケジュール管理に苦戦することもありまし
たが、一致団結によってパンフ完成が実現
しました。 丹生谷 賢政

プログラム紹介のページでは、今まで以上
に現役情報学部生の声をお届けしています。
ぜひご覧ください。 宮澤 懐那

少しでも大学選びに悩む皆さんの参考にな
れば幸いです。ご協力ありがとうございました。
長谷 美杜

企画から制作まで大変なこともありましたが
貴重な経験ができて楽しかったです！群馬
大学で待っています！ 小澤 乃綺

パンフレットを手にとって一番最初に目に留
まるのが、表紙だと思います。その表紙を
担当できたことがとても嬉しいです。皆さん
と群馬大学でお会いできることを楽しみにし
ています！ 澁江 小春

様々な困難を乗り越え、無事にパンフレット
を完成させることができました。取材や制作
にご協力くださった皆様に心より感謝申し上
げます。 三保 璃胡

情報学部についての成り立ちや、特色をより
知ることができたと思います。ご協力あり
がとうございました。 古見 光平

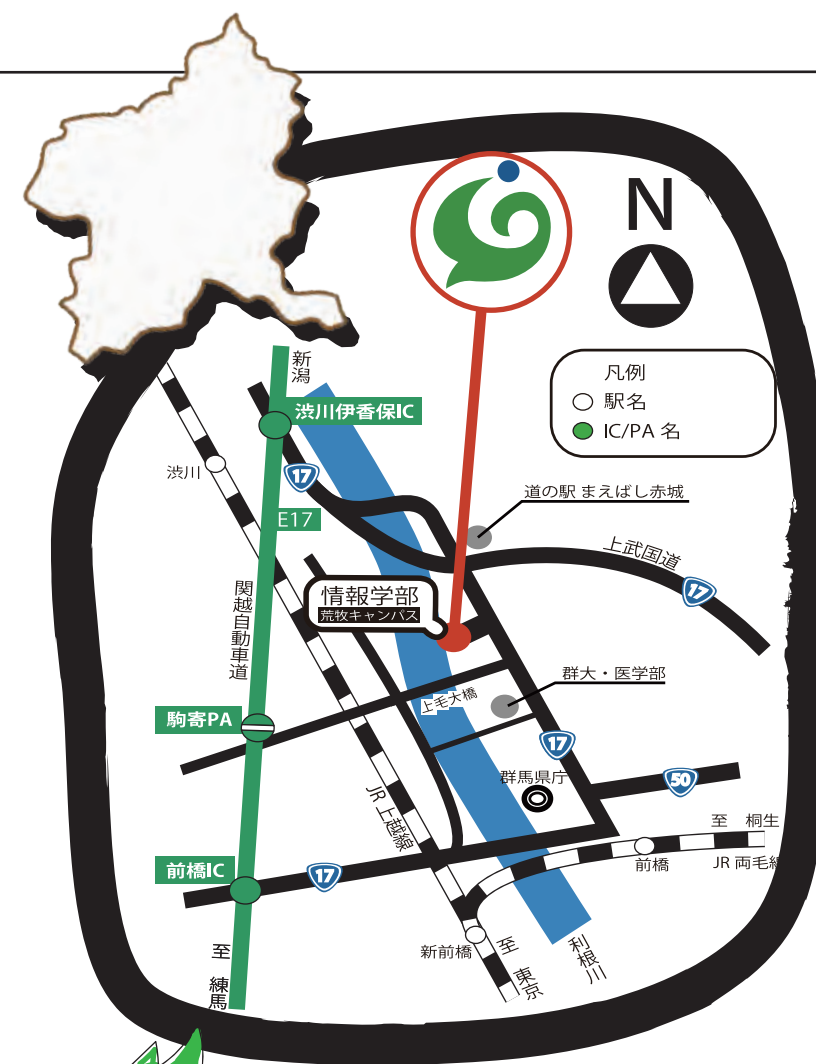
初心者で不安も多かったのですが、パンフ
委員の一員としてこのようなものを作れて嬉
しかったです！！ 新井 秀椰

このパンフレットが、群馬大学情報学部への
進学を考える一つのきっかけになれば幸い
です。 小暮 優緒

群馬大学情報学部の魅力を存分に伝えられ
るパンフレットになったと思います！制作に協
力して下さった方々ありがとうございました。
畠中 柊

文理横断の教育を通じて、あなたの「やり
たいこと」がきっと見つかります。パンフレ
ット委員が丁寧に作成した本冊子を通じて、
本学部の魅力が伝われば幸いです。 小林 歩夏

アクセス情報



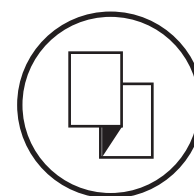
JR 両毛線 前橋駅下車

関越交通バス(渋川駅・小児医療センター行き
または群馬大学荒牧行き)に乗車
北口2番 乗り場
「群馬大学荒牧」または
「前橋自動車教習所前」で下車

JR 上越線 渋川駅下車

関越交通バス(前橋駅行き)に乗車
「群馬大学荒牧」または
「前橋自動車教習所前」で下車

MAP



群馬大学荒牧キャンパス



HP



群馬大学HP



情報学部HP



SNS



Instagram



YouTube



X(旧Twitter)

